

# 重点的横断戦略プラン② - 1 プロジェクト構成案

都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を創る取組み

## 『リージョン・コア YOKKAICHI』

～来たくなる、働きたくなる、住みたくなる～

東海地域をリードし、地域社会のイノベーションを誘発する 『産業・交流拠点都市』  
の実現に向けて

プロジェクト 【仕事生まれる】  
**01** 第4次産業革命に備える  
産業活性化プロジェクト

AIやIoTなどの新技術の導入による新事業の創出・生産性の向上・人材不足の解消等に、いま世界中が大きな期待を寄せています。

この流れを地域を支える企業の経営に生かし、投資や雇用拡大につなげていくかが中長期的な発展の鍵。技術開発や実証実験、人材育成など「企業の稼ぐ力」の向上を支援します。



プロジェクト 【魅力が高まる】  
**02** 中心市街地の都市機能  
高次化プロジェクト

2027年のリニア開通を機に、首都圏との交流が飛躍的に高まります。

人と人との交流によって生み出された知恵が、新たな産業や文化を育む力になることから、四日市の玄関口である中心市街地を、まちの魅力と活力をひと目で見て取り、体感できる、象徴性を持った高次な都市機能が集積する都市空間へと転換を進めます。



プロジェクト 【人・モノが行き交う】  
**03** 次世代交通ネットワーク  
構築プロジェクト

慢性的な交通渋滞、そして地域では買い物や通院など日常の移動手段の確保が困難となっています。

自動運転や空飛ぶ車など近未来技術の進展を見極めながら、IoTを活用した交通サービスの充実、渋滞箇所の改良、地域交通拠点の整備、循環道路網の形成などを組み合わせた交通ネットワークの構築を図ります。



名古屋都市圏の【核】となり存在感を持つため、  
「多様な都市機能が集積し、人で賑わい、まちの魅力にあふれるまちづくり」を進めます。

## No.1 企業立地や投資の促進

産業＋雇用

## 目的

日本を代表する産業都市として、企業に向けた体制や環境の整備を進めることで  
**新たな企業立地や活発な投資を促進する**

## 具体的取組

- ①新たな企業立地に対するワンストップサービスを充実します。
- ②緑地率の緩和や敷地外緑地制度の構築など、立地に必要な環境整備を実施します。
- ③企業立地奨励金や民間研究所立地奨励金の見直し、拡充による企業の投資を促進します。

①ワンストップサービス  
～イメージ～

立地を希望される  
**企業様**

ワンストップサービス

## 手続き・相談・情報提供等

- ・事業用地
- ・現地視察
- ・各種行政手続き
- ・優遇制度
- ・融資制度
- ・人材確保
- ・技術支援
- ・産学官連携
- ・マッチング
- ・困りごと

連携

市役所庁内各課

連携

大学・研究機関

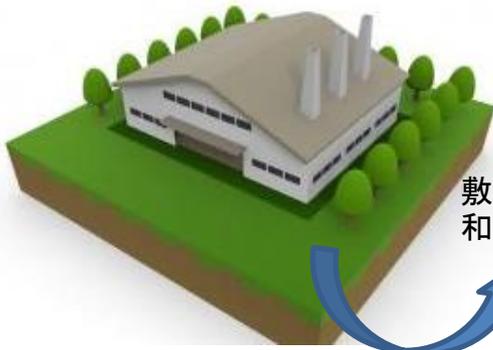
連携

金融機関

連携

地元企業

## ②企業立地への環境整備



敷地外緑地制度の構築や緑地率の緩和に向けた取り組みを行います。

## No.2 AI、IoT等の新技術の活用、人材育成

産業+ICT

## 目的

製造業における人手不足などの課題を解決し、業務の効率化を図るため

**AI、IoT等の技術を活用できる人材を育成し、生産性を向上させる**

## 具体的取組

- ①AI IoT ビッグデータの導入事例の紹介や利活用に関する研修を実施します。
- ②導入に向けた産学官による調査研究を行います。



## No.3 農業のビジネス化

農業+経営

## 目的

チャレンジする農家を育成するとともに、農業のビジネス化を促進することで、**経営感覚に優れた農業者を育成し、「儲かる農業」を実現する**

## 具体的取組

- ① GAP、HACCPなどの管理手法の導入を奨励し、生産物の品質向上や経営コストの削減など農業経営の改善をすすめ、経営の安定化を図ります。
- ② 多様な産業が展開する本市の特性を活かし、異業種交流の機会を設け、農商工連携など新たな販路の確保を図ります。
- ③ 地元で生産される農水畜産物への理解を深め、地域内消費を進めることにより地域農業の振興を図るとともに、農作物の安定的な生産を図ります。



農産物の高付加価値化、加工や商品化といった6次産業が等新たな分野への取組を促すため、農業センターにおいて各種研修会を開催し、実践の場を提供します。

GAPやHACCPなどの管理手法を取り入れ、経営を見直すとともに、生産物の高品質化への取組を支援します。

## No.4 国際競争力を高める四日市港の物流機能強化

港湾+産業+防災

## 目的

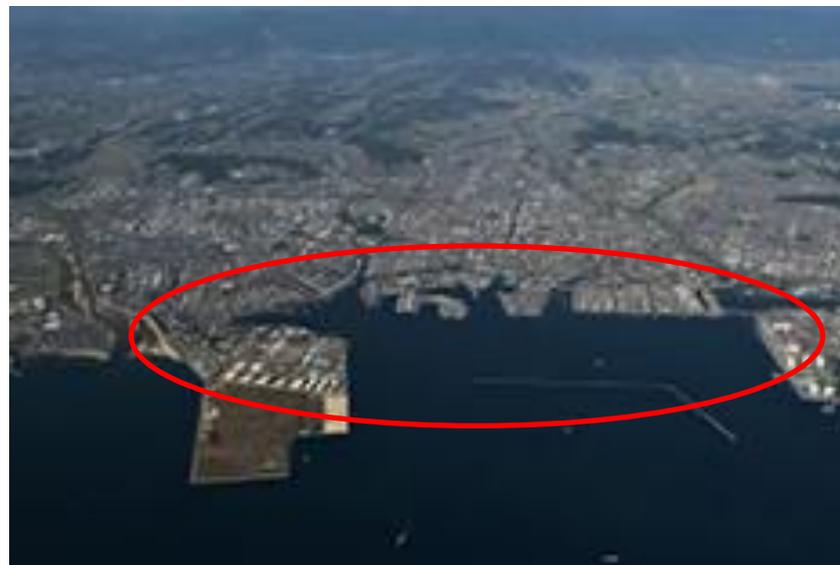
四日市港の物流機能の強化を図り、市内企業の国内外との商取引環境を整備することで  
**本市の産業・経済を将来にわたり活性化**する

## 具体的取組

- ①霞ヶ浦地区における新たな耐震強化岸壁の整備を促進します。
- ②臨海部の住民や企業の安全・安心を確保するための海岸保全施設整備を促進します。



コンテナ取扱機能を移転・集約化することで一層の効率化を図るとともに、大規模地震時における物資の緊急輸送等に対応するため、新たな耐震強化岸壁を備えた施設整備を促進します。



老朽化した港湾施設の計画的な更新や修繕、南海トラフ地震等の大規模地震や津波、高潮、波浪等に対する備えを促進するため、四日市港管理組合ほか関係機関との連携を強化します。

# No.5 官民データの利活用による 新たなビジネスの創出と地域課題の解決

ICT+産業+地域

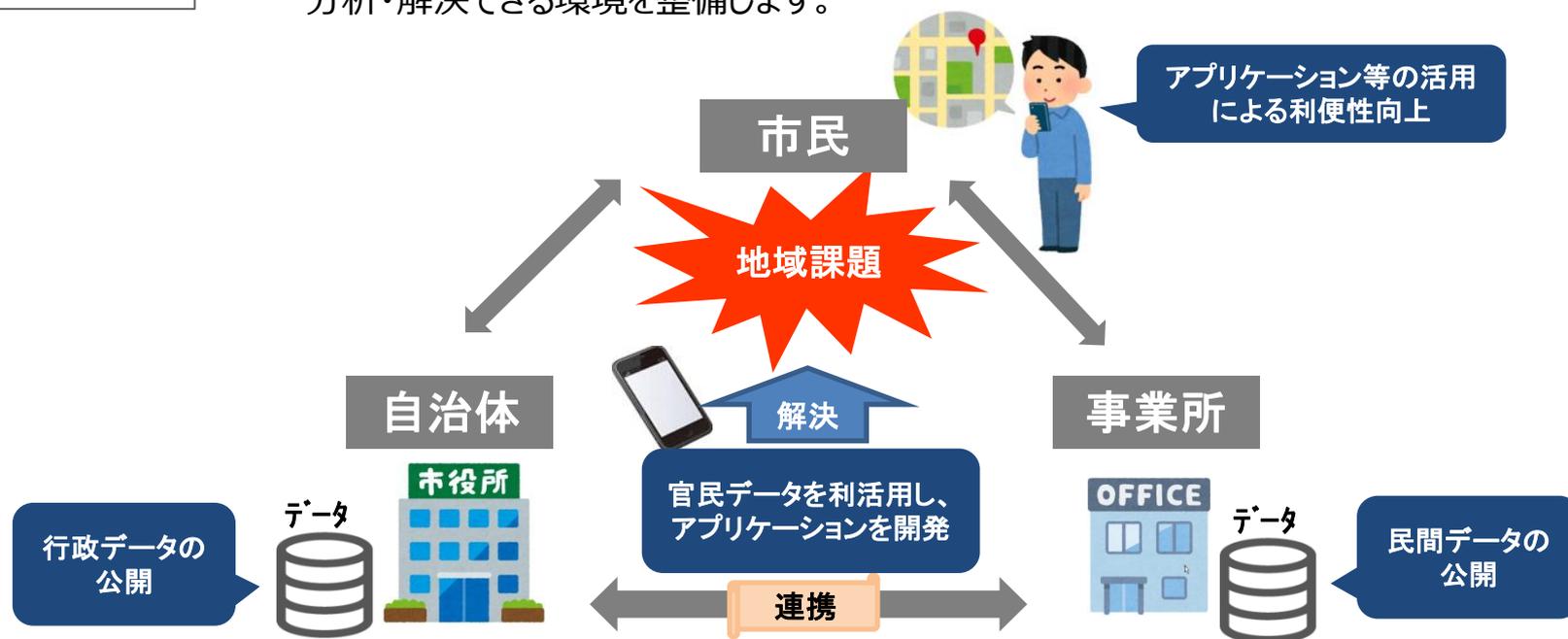
目的

自治体や民間が保有しているデータを公開していくことで

**本市に新たなビジネスを創出し、様々な地域課題を解決する**

具体的取組

①市・市民・企業等が官民データを容易に利活用することができ、地域課題への対応を連携して分析・解決できる環境を整備します。



官民協働による地域課題の解決に向けた官民データの有効活用とそのデータを活用した市民サービス向上に向けたアプリケーションの開発を目指します。

## No.1 WE DO 四日市中央通り

交通・にぎわい+産業+健康

目的

駅前広場や歩行空間等の整備・高次都市機能の集積で、

**居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成する**

具体的取組

- ① にぎわい創出に向けた市の玄関口に相応しい駅前空間の整備に取り組みます。
- ② 駅前広場や歩行空間等の整備による交通結節機能強化を図ります。
- ③ 近鉄四日市駅-JR四日市駅間等において、新たな技術を取り入れた交通手段の実現に関係者と共に取り組みます。
- ④ 新図書館を中心とした複合的な機能をあわせ持つ拠点施設立地など広域的な都市機能を集積するとともに、再開発など民間投資の誘導を図ります。



国交省とのパートナーシップによるウォークラブルなまちづくりの推進  
まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、  
憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変します。

駅前広場や歩行空間等の整備 (イメージ)

## No.2 四日市が仕掛ける中心市街地活性化の起爆剤

都市整備+にぎわい+教育

## 目的

中心部のランドマークとなるような施設を整備することで、  
**幅広い年齢層の人々を惹きつける魅力的な空間を創出する**

## 具体的取組

- ①新図書館を核として、あらゆる世代が集い交流することのできるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ拠点施設を整備します。
- ②新図書館においては、I C Tにも対応するとともに、日常の居場所ともなる全世代を対象とした滞在型図書館とします。



多様な情報発信とコミュニケーション機能をもつ空間を整備します。  
(ぎふメディアコスモスの事例)



図書館の閲覧スペースは、滞在型として必要かつ十分な広さを確保します。(多賀城市立図書館の事例)

# No.3 新たな価値を創出する都市型産業の振興

産業+ICT

## 目的

多様な機能が集積する中心市街地をめざし、新たな価値を創出する都市型産業の振興により  
**新たな技術やサービスを創出する**

## 具体的取組

- ①AI、IoT、ビッグデータなどを活用するIT企業を誘致します。
- ②来街者の集積や交流を促すコンベンションを誘致するほか、多機能付滞在施設を誘致します。

AI、IoT、ビッグデータを活用するIT企業の誘致に向けた支援を行う事で、本市のものづくり産業との連携など産業の活性化につながる取組を行います。



コンベンションの開催イメージ

## No.1 楽しく移動できる交通環境づくり

交通・にぎわい+環境

## 目的

新技術を取り入れた交通手段を実現することで

**誰もが自由に移動できる環境を整備する**

## 具体的取組

- ①近鉄四日市駅-JR四日市駅間等において、新たな技術を取り入れた交通手段の実現に関係者と共に取り組みます。
- ②端末交通への活用を視野に自動運転などの新技術の導入に取り組みます。
- ③移動のニーズに応じ、多様な移動手段をサービスとして提供するMaaSへの対応を進めます。

## 【自動運転車両の例】

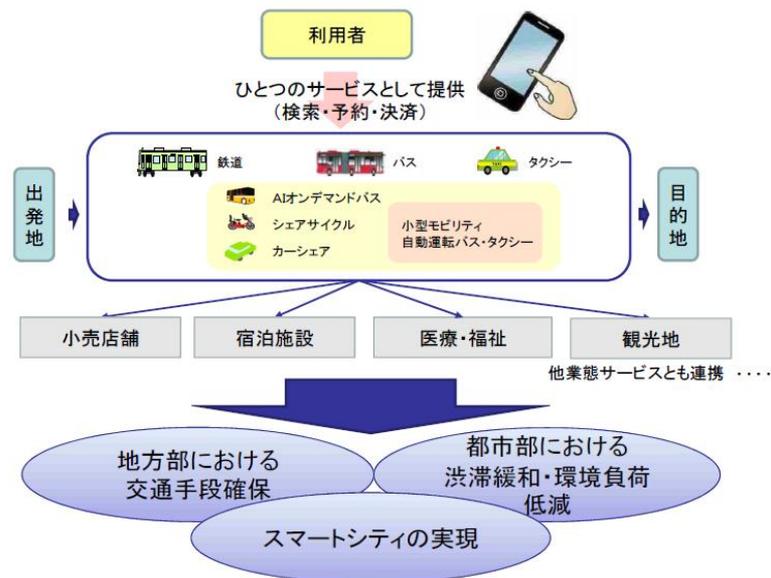


電動小型低速車両



NAVYA ARMA(ナビヤ アルマ)

## 【MaaSの概要】



【出典:国土交通省資料】

# No.2 郊外部の暮らしを支える交通・生活サービスの拠点づくり

交通・にぎわい+生活

## 目的

地域の交通拠点を整備することで  
**郊外部の交通・生活の利便性を向上する**

## 具体的取組

①郊外部の商業施設や駅などから基幹的な公共交通へ快適に乗り換えできるようなにぎわいのある地域の交通拠点の整備に取り組みます。

### <イメージ図>

- ・商業施設、診療所、保育所などが集まり、にぎわいのある拠点

参考：道の駅やいた（栃木県矢板市）



- ・多様な交通手段（徒歩、自転車、路線バス、デマンドバス、自動運転など）で行ける郊外部の交通拠点



参考：道の駅ふじおやま（静岡県駿東郡小山町）

※バス停イメージ



## No.3 都市の発展と命を支える道づくり

交通 + 産業 + 安全・安心

## 目的

広域幹線道路とのネットワークを構築し、

**地域経済の活性化を図るとともに、大規模災害に備える**

## 具体的取組

- ① 東海環状自動車道・新名神高速道路の整備促進、および北勢バイパスの国道477号バイパスまでの早期完成や鈴鹿四日市道路の事業化に向け、関係者と連携し、取り組みます。
- ② 広域高速道路と中心部や臨海部を結ぶ道路ネットワークを強化しインターアクセスの向上を図ることで、物流のリードタイムを短縮し、大規模災害などの緊急対応に備えます。
- ③ 広域交通の利便性が高い区域において、新たな企業立地や再編に必要な土地利用誘導を検討します。

## 【広域道路網】

国道1号・23号主要渋滞箇所  
箇所：● 区間：■

## 【設備投資が進む産業の事例】



## 【整備中の広域幹線道路】



## 【災害時のくの歯作戦により道路啓開した事例】

被災直後



道路啓開作業後



●道路啓開状況(出典:東北地方整備局道路部 東日本大震災対応記録誌)